

内容刷新

2017 眼光学チュートリアルセミナー

理解し易い

— 眼科医・視能訓練士・オプティカルエンジニアのための —

【日 時】 2017年8月19日(土) 9:30~17:40
20日(日) 9:00~15:45 2日間

本チュートリアルの趣旨と特長

日本の QOV (Quality of Vision) は、眼光学に関心の深い眼科医、視能訓練士、理工系の研究者、それと関連する企業の尽力により、世界的に見ても高品位に保たれていますが、実際の臨床現場ではより深い眼光学の知識を必要とする機会が多くなっています。そこで、知っておくべき、あるいは臨床で困ったときに役立つ光学知識を、眼光学の観点から解りやすく解説するセミナーを開催します。

今回で第10回目を迎えますが、既に約1,300名の方が受講され、たいへん好評を博しております。本年度も、前回アンケート結果をふまえて大幅に講義の見直しを図りました。眼科医、視能訓練士はもちろん、オプティカルエンジニアの方にも有益な内容となっておりますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

☆ 前回のアンケートより (一部抜粋)

- ・ 光学的な部分の基礎を学ぶことができました。OCT は測定することが多くなっているため、とても参考になりました。
- ・ 臨床の場で患者の不定愁訴があった時に、内容を精査し、今回学んだことを随時活かしたい。
- ・ 検査や機能を理解している事で、結果の読み取り方が変わると感じた。全ての数値を理解したいと思った。
- ・ 原理を知って、検査を行うこと。よりよいメガネの処方。IOL レンズの選択
- ・ 学生の講義、後輩への教育に役立てたい。
- ・ 光学機器の開発。実際に使用する方の意見やトレンドなどの情報収集をし、社内に展開したいと考えています。

【スケジュール】 裏面をご覧ください。(多少の変更はご了解下さい)

【主催】 日本眼光学学会、一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会

【後援】 公益社団法人日本視能訓練士協会

【認定事業】 1. 一般財団法人日本眼科学会 生涯教育事業認定事業
2. 公益社団法人日本視能訓練士協会 生涯教育認定事業

【会場】 機械振興会館 地下2階ホール (東京都港区芝公園3-5-8)
(アクセス <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)

【交通】 【地下鉄】 東京メトロ日比谷線 (神谷町駅下車 徒歩8分)
都営地下鉄三田線 (御成門駅下車 徒歩8分)
都営地下鉄大江戸線 (赤羽橋駅下車 徒歩10分)
都営地下鉄浅草線・大江戸線 (大門駅下車 徒歩10分)

【JR】 山手線・京浜東北線 (浜松町駅下車 徒歩15分)
【東京モノレール】 浜松町駅下車 徒歩15分

【参加費】 日本眼光学学会 会員: 25,000円 JOEM 会員: 25,000円
(公社)日本視能訓練士協会正会員: 15,000円 研修医 / 学生: 15,000円
— 一般: 30,000円 (テキスト代、消費税込)

【申込期限】 2017年8月14日(月)まで (定員(200名)になり次第締め切ります。)

【申込方法】 お申込みフォームは下記のURLからお入りください。
お申込み受付後、一週間以内にJOEMから申込責任者宛に受講票と請求書をご郵送いたします。一週間経ってもお手元に届かない場合はお手数ですがご連絡をください。
[http://www.joem.or.jp/moushikomi\(g\).htm](http://www.joem.or.jp/moushikomi(g).htm)

※ 参加費の払い戻しはいたし兼ねます。お申込みされた方のご都合が悪くなった場合は、代理の方がご出席下さいますようお願いいたします。

【振込先】 口座名: 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
取引銀行: みずほ銀行 神谷町支店 普通預金 2187994

【申込先及び問合せ先】 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-22
TEL: 03-3435-9321 FAX: 03-3435-9567 E-mail: info@joem.or.jp

※本セミナーは土日開催となりますので会場周辺には営業している飲食店が少ない為、お弁当を販売する予定です。ご利用の方は当日受付の際に食券をお求めください。

JOEM 一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番22号 機械振興会館別館内
TEL (03)3435-9321(代) FAX (03)3435-9567
<http://www.joem.or.jp> E-mail: info@joem.or.jp

JAPAN OPTOMECHATRONICS ASSOCIATION 3-5-22 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo 105-0011, Japan

2017 眼光学チュートリアルセミナー 講義内容

8 月 19 日 (土)	9:30 9:45	オリエンテーション - 眼光学関係の最近のトピックス - 大阪大学 大学院医学系研究科 病態制御医学専攻 感覚機能形成学 教授 不二門 尚氏	
	9:45 10:30	視力、コントラスト感度をよりよく理解するために (光学的アプローチ) 視力、コントラスト感度は、網膜像の鮮明度とそれを処理する視覚情報処理系の両方で決まる。本講演では 症例を交えて、日常診療で役立つように、分かりやすく解説する。 大阪大学 大学院医学系研究科 病態制御医学専攻 感覚機能形成学 教授 不二門 尚氏	
	(休憩 10分)		
	10:40 11:25	角膜形状解析の新しい展開 角膜形状解析は、屈折矯正手術の術前術後、角膜形状異常の診断に加え、白内障手術の術前にも使用されるようになっており、目的に応じた使用方法について簡潔に解説する。 湖崎眼科 副院長 前田直之氏	
	(休憩 10分)		
	11:35 12:45	光学入門 - 幾何光学と波動光学 - 光の 2 つの側面である、“波としての性質”と“光線としての性質”を対比しながら、結像や収差、プリズムの作用などについて、図解中心に説明していく。 公益社団法人日本視能訓練士協会 事務局長 関谷 尊臣氏	
	(昼食 60分)		
	13:45 14:30	眼内レンズの光学 現在臨床使用されている高機能眼内レンズの光学的特徴および眼内レンズ度数計算について解説する。また、国内外の眼内レンズの最新情報について概説する。 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 教授 根岸一乃氏	
	(休憩 10分)		
	14:40 15:25	老視矯正の光学 老視矯正用に、低加入度の多焦点眼内レンズ、多焦点コンタクトレンズがある。そのデザインと性能をシミュレーション像によりわかりやすく解説する。 千葉大学 フロンティア医工学センター 准教授 大沼一彦氏	
	(コーヒーブレイク 20分)		
	15:45 16:30	色覚入門 ヒトの感覚である色覚のメカニズム、色の表し方、等、知っておくべき色の基礎について解説する。色覚異常の考え方、色覚検査の原理にも触れる。 帝京大学 医療技術学部 視覚矯正学科 教授 小林克彦氏	
	(休憩 10分)		
	16:40 17:40	眼底観察・撮影法と今後の展望 眼底の観察・撮影は、瞳孔とレンズ系を通して照明光を入射し、射出される観察光を得ることにより可能となる。様々な観察システムの基本と今後の展望について解説する。 国立病院機構東京医療センター 眼科 医長 / 東京医療保健大学大学院 看護研究科 臨床教授 野田 徹氏	
	8 月 20 日 (日)	9:00 9:45	波面センサー入門 波面収差とは何か、波面収差の表し方から、波面センサーの測定原理・評価方法、網膜像シミュレーションなど、基本的な内容についてわかりやすく解説する。 株式会社 トプコン アイケア開発技術部 アイケア製品開発課 エキスパート 広原 陽子氏
		9:45 10:30	波面センサー最新情報と今後の展開 近年、連続測定による継続的評価や眼球パーツ別の収差評価が可能となった。色収差の測定も可能となり、装置の小型化も進んでいる。高次収差の正の側面も注目されている。 筑波大学 医学医療系 眼科 講師 平岡 孝浩氏
		(休憩 10分)	
		10:40 11:10	眼鏡レンズの最新情報 - 技術の立場から - 眼鏡レンズは装用状態によって度数効果が異なる。フレーム前傾角やそり角、頂点間距離などを考慮して、個別に最適設計される累進レンズの特徴や注意点について解説する。 眼鏡技術専門学校 ワールドオプティカルカレッジ 講師 金子 弘氏
		(休憩 5分)	
11:15 12:15		眼鏡レンズの最新情報 - 臨床の立場から - スマホの普及によって眼精疲労を訴える症例が急増している。調節機能と眼位の異常が原因である。個人ごとに異なる視機能と生活環境に即応した眼鏡の処方技術が要求される。 梶田眼科 院長 梶田 雅義氏	
(昼食 55分)			
13:10 13:55		OCT装置のしくみと新しい展開 - 技術の立場から - OCT装置を眼科応用するための技術的な仕組みをひも解き、眼科用OCTの有効性を紹介するとともに、現在多方面で進められているOCT技術の発展を紹介する。 株式会社トプコン 技術本部 アイケア技術企画部 部長 / 理化学研究所 光量子工学研究領域 秋葉 正博氏	
(休憩 5分)			
14:00 14:45		臨床OCT、撮影と読み方の基礎 OCTは正しい方法で撮影を行い、所見を正確に解釈することで初めて有用となる。本講演では撮影にあたってのポイント、および各所見の解釈について分かりやすく解説する。 国立病院機構東京医療センター 臨床研究センター (感覚器センター) 視覚研究部長 角田 和繁氏	
(コーヒーブレイク 15分)			
15:00 15:45	水晶体の加齢変化と視機能 水晶体は、加齢に伴い形状や屈折率等が変化し、弾性や光学特性が低下する。水晶体と視機能の関係、機能的役割や加齢変化についてわかりやすく解説する。 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学専攻 准教授 川守田 拓志氏		

※ 本カリキュラムは講師の都合により、変更する場合がございます。